

	施策の方向性	事業名	概要	当初予算額 (千円)
1	A	芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が優れた芸術文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材のすそ野の拡大を図る。 (最大100万円まで補助)	10,036
2	A	府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進する。	116
3	A	大阪府アーティスト情報発信事業 (バンク)	府内で活動するアーティストの情報を広く府民に紹介することで、地域や学校における府民の自主的な文化活動をサポートする。	—
4	A	音楽指導事業	中高生を主な対象とする管楽器、打楽器の演奏技術講習会を実施する。	880
5	A	音楽体験事業	日本センチュリー交響楽団が中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。	—
6	A	輝け！子どもパフォーマー事業	「メセナ自動販売機」「次世代育成型メセナ自動販売機」からの寄附金を財源として、文化に親しみ、参加、表現する機会を提供する事業のうち、子どもたち自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進する。(最大30万円まで補助)	4,800
7	A	フェスパ次世代シアター事業	咲洲庁舎1階フェスパを子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供する。	—
8	A	メセナ自動販売機の設置等	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」の設置を促進する。また、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。	12,975 (基金設置運営費)
9	A	オーケストラハウスの管理	日本センチュリー交響楽団に貸付をしているオーケストラハウス(服部緑地内)の管理等を行う。	1,852
10	B	上方演芸資料館(ワッハ上方)の管理運営事業	大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていくため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料の館内・館外展示や上方演芸の殿堂入り等を通じて、府民に上方演芸に親しむ場等を提供する。	90,706
11	B	大阪文化芸術フェス2018	府内のホール・劇場や公園に、上方伝統芸能、上方演芸等の大阪が誇るコンテンツや、コンサート、演劇、アート等の内外のコンテンツを一堂に集め、合わせて実施し、競い合うことで、府民に文化を楽しむ機会を創出するとともに、府内全域に多くの観光客を呼び込む。あわせて、大阪が持つ多彩で豊かな文化の魅力を積極的に発信することにより、国際エンターテイメント都市の実現を目指すとともに、大阪の都市格の向上を図り、2025年の大阪万博につなげていく。	160,556
12	B	芸術文化顕彰事業	大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方の顕彰等により、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力のアピールを行う。(大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞)	3,018
13	B	大阪文化再発見事業	「大阪文化」の豊かさを再認識するため、市町村、大学及び研究機関等と連携し、「おおさかふみんネット」や「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット」を立ち上げ、府民向けの共催講座を実施する。	—
14	B	アートのスポット魅力創出発信事業	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所(アートのスポット)を創出する	—
15	C	江之子島文化芸術創造センター管理運営事業	文化芸術の振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資するため、絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。	62,809
16	C	プラットフォーム形成支援事業	アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、企業等の多様な立場の組織や人が集まってプラットフォームを形成し、対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン(コミュニティデザイン含む)を手法として、共に課題の検討や事業を推進するための支援を行う。	10,090
合計				357,838

凡例：第4次大阪府文化振興計画 施策の方向性

(H29年度：342,241)

- A 文化創造の基盤づくり
- B 都市のための文化
- C 社会のための文化